か

な暮

5

を

一般社団法人 豊かな暮らしラボラトリー

ニュースなどでよく耳にする「過疎」という言葉は、島根県益田市が発祥の地だということをご 存知でしょうか? そんな人口減少の先端を行く町の中で、人材育成事業を通して「豊かな暮らし」 とは何なのかを追求し、挑戦し続ける団体。それが「一般社団法人豊かな暮らしラボラトリー」です。 「ユタラボ」の愛称で呼ばれるこの団体は、益田市内の小中高生から社会人までの様々な世代 に、自分らしくいられる "居場所"づくり、そしてどんな環境に置かれていようと主体的に未来をつ くりだしていける"ひとづくり"の取り組みを行なっています。「自分の暮らしは自分でデザインして いい。自分の気持ち次第で、世界の見え方は180度変わるのだ」。そんな思いを持った彼らがど んな活動をし、どんな未来を描いているのか、一緒に見ていきましょう。





幸せな暮らしをデザインする

代表理事 檜垣賢一さん

ユタラボは、多くの人が自分に合った幸せの形を見つけ、豊 かな暮らしを送るためのサポートを行う団体です。みなさんは 「幸せのものさし」をいくつ持っていますか? 私が子どもの頃 に持っていた幸せのものさしは「お店など娯楽施設の数」でし た。ですから、地方よりもお店の数が多い都会の暮らしへの憧 れが強くありました。ただ、実際に都会へ行って気づいたことが、 都会にも自分の暮らしに誇りを持てていない人がたくさんいる ということです。お店も人も溢れすぎていて、逆に自分の居場 所や自分の社会での役割を見つけること自体がとても難しいの です。そして、過疎発祥の益田への移住。そこで、僕は新しい 幸せのものさしを見つけました。それが、たとえお店や物がな くてもみんなで作り出していける喜びや、そういった人との繋 がりの中で助け合って生きていける幸せ感です。そうした日々 を過ごす中で、幸せとは住む環境に左右されたり、決まった形 があるものではなく、一人ひとりが自分に合った幸せの形を見 つけることが大切だと気付いたんです。益田市には昔の私と同 じように、自分の生活に幸福感を見出せずに悩んでいる人が多 くいます。ユタラボでは全ての事業を通して、そんな人たちに 寄り添い、仕事や学業、プライベートの時間、それぞれの時を どう過ごせば幸せになれるのか、一人ひとりに合った幸せの形 を一緒になって考えています。色とりどりで多様な幸せが溢れ るマチを作るため、私たちは走り続けます。









自分らしく居られる、安心・安全な居場所を、すべての子ど もと大人へ。居場所とは、施設的なハード面の意味だけでは なく、コミュニティや一時的なイベント空間なども含まれま す。学校(職場)や家以外の居場所である「サードコミュニ ティ」(第3の居場所)を作ったり、既存コミュニティへの 研修などを通して、安心・安全な"居場所"を社会全体に散 りばめていきます。

生まれ育った環境、職業(学校)、年齢、性別に関わらず、 トライできるチャンスを、すべての子どもと大人へ。多様な 価値観や経験を持った人との出会いの機会、自分の「生き方」 や「やってみたいこと」を深く考える機会、その「想いを力 タチに」する機会をつくり、必要な伴走を行います。

ひと づくり

Interview



私は元々、東京で営業職として働いていましたが、ノルマのために働くことに違和感 を抱いていました。そこから、自分が働く上で何を大事にしているか考えたときに「人 に貢献できる仕事がしたい」と思うようになりました。

そんな時に、ユタラボ立ち上げの話を聞き、「自分がやりたいことが出来るのではない か」と思い益田への移住を決断したんです。元々まちづくりや大人の居場所づくりに 興味があり、給料や場所に囚われずに挑戦しようと思いました。現在は、益田市内 の企業の想いやそこで働く人の生き方を紹介するメディア「ますだのひと」の記事執 筆や民間企業向けの研修を担当しています。今後は、仕事以外でトライする大人が 益田に増えるように、"旗振り役"として引っ張っていきたいです。

Company Data

業種:人材育成・持続可能なまちづくり支援 設立:2020年 従業員数:正職員5名、大学生インターン4名

代表:檜垣賢一 場所:島根県益田市幸町8-18 https://www.yutalab.com/



◀MACHI TERASUの WEBベージ

益田から全国へ、仲間を増やしたい



ラボラトリーとは日本語で実験場と いう意味です。私たちは豊かな暮 らしについて、みんなで考え、様々 なチャレンジをしていくべきだと考え

ています。人と違ってもいい、いろんな価値観を みんなで持ち寄り、互いに成長していく実験場の ような場所でありたいと願っています。今後は日本 中に仲間を増やし、「暮らしは自分でデザインでき る」という考え方を全国に広めていきたいです。

